

第1回多賀城市公共交通会議の意見・要望に対する対応について（事務局回答）

NO	項目	意見・要望	質問者	対応可否	事務局の対応内容（事務局回答）
1	報告事項3 多賀城東部線及び多賀城西部線の利用実態調査の結果	乗車バス・降車バスのグラフを見ると、往復でバランスが取れておらず、片道利用が多いと見受けられる。アンケートの「帰りに利用される予定ですか」といった設問についてはどうであったか。	徳永会長	-	27日の結果として、5割が往復利用、4割が片道利用という結果となっている。
2	報告事項2 多賀城東部線及び多賀城西部線の利用実績について	利用者アンケートからは満足度が高いことが見受けられたが、これまで利用したことのない人にとっての利用しやすさを検討する必要があるのではないか。	徳永会長	-	
3	報告事項3 多賀城東部線及び多賀城西部線の利用実態調査の結果	多賀城東部線では多賀城駅以外の駅（国府多賀城駅）への乗降が多くない理由は何故か。	鈴木委員 (高橋北区長)	-	多賀城東部線は利用形態からすると七ヶ浜町や笠神方面の方が、多賀城駅での鉄道乗り継ぎを目的とした利用が多いため、多賀城駅で大部分の乗客が降車している。国府多賀城駅は多賀城駅の北側にお住まいの方が利用していると考えられる。多賀城駅周辺の方は多賀城駅に徒歩移動が可能であるため、バス利用者が少ないことも考えられる。
4	報告事項3 多賀城東部線及び多賀城西部線の利用実態調査の結果	多賀城東部線の休日運行について、運行希望時間などの意見はアンケート等で拾えているのか。 駅前図書館や保育所があり、利用者や従事者の帰りの足がないということがあると考えるため、図書館利用を踏まえて増便などの検討が必要なのではないか。	尾田委員	-	自由回答で拾えており、資料3-1 p 12の自由回答に主な意見をまとめている。平日の夜間は21時台まで運行しているが、土日は確かに最終バスが早いと認識している。 土日は運転手1人で運行しており、収支の関係や運転手不足の現状から増便は難しい状況である。
5	審議事項1 多賀城市生活交通ネットワーク計画骨子案	昨今高齢者の交通事故が騒がれている一方、生活する上で自動車を手放せない高齢者もいる。自動車免許の自主返納をしやすい環境づくり、補助等の検討などをお願いできないか。	高橋委員	▲	高齢者の免許返納を促進し公共交通への利用へ繋げたい。そのためには値段は高くとも利便性の高い公共交通を提供しなければならないと考える。また、自動車から公共交通に転換するにはデマンドバスのようなサービスの検討も必要。 免許返納しやすい環境づくりのため、公共交通お試し期間を設けた割引制度の検討も必要。（徳永会長対応）
6	報告事項3 多賀城東部線及び多賀城西部線の利用実態調査の結果	資料_3-2について、無回答が36%以上ある中で、無回答者に高齢者もかなり多く含まれているのか。 七ヶ浜町内では中心部にあるスーパーを目的とした利用が見られるが、多賀城市でもヤマザワやCOOPへの利用が多いのか。	萩野委員	○	無回答の調査票についても年齢は確認している。 まだ単純集計であるが、クロス集計で年代別の利用目的、最終目的地、どの便を利用したのかを判明することは可能。（徳永会長対応）
7	審議事項1 多賀城市生活交通ネットワーク計画骨子案	[現況課題⑥わかりにくい利用環境]について 過疎地域の自治体で色のイメージ付けによりバスをわかりやすくしている事例があるため、本市においてもそのような検討をしてほしい。	吉本委員	-	多賀城東部線は、赤い車両、多賀城西部線は、青い車両とある程度市民からは認識されている。
8	審議事項1 多賀城市生活交通ネットワーク計画骨子案	多賀城西部線の南宮側の道路は狭く、車両が歩道にはみ出ししていることがあり、また更に多賀城ICができてから交通量が増えたため、子供が歩行する上で危険な場合がある。そのようなことを踏まえ、路線を修正する等検討してほしい。	櫻井委員	-	運行事業者と協力し、随時確認し、改善を行っていく。

- ： 対応する方向で調整。
▲： 事務局内で協議・調整が必要な事項。
×： 検討会において、対応しない（予定）